

静岡県内政令指定都市の消費者物価指数の動き

令和4年平均総合指数（前年比）静岡市3年ぶり上昇，浜松市2年連続上昇

デジタル戦略局 統計調査課

県内政令指定都市（静岡市及び浜松市）の消費者物価指数について、平成25年から令和4年までの年平均の推移、令和4年の10大費目別指数の前年比及び月別の動きを紹介します。

消費者物価指数とは、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格等を総合した物価の変動を時系列的に明らかにするものです。

1 静岡市消費者物価指数

静岡市の令和4年平均の消費者物価指数は、令和2（2020）年を100とした**総合指数が101.7**となり、前年と比べ**2.6%の上昇**で、**3年ぶりの上昇**となった。

天候により値動きが大きく左右する**生鮮食品を除く総合指数は101.5**となり、前年と比べ**2.4%の上昇**で、こちらも**3年ぶりの上昇**となった。

生鮮食品と原油価格などの対外的な影響を大きく受けるエネルギーを除いた**生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は99.7**となり、前年と比べ**0.8%の上昇**となった。

(1) 年平均の推移

総合指数は、平成26年4月に消費税率が5%から8%に改定されたことなどにより前年比2.8%と大幅に上昇した（消費者物価指数は消費税分を含めた消費者が実際に支払う価格を用いて作成している）。平成28年は原油や液化天然ガスの輸入価格安に伴い、ガソリンなどのエネルギー関連品目が下落し、マイナスに転じた。平成29年、平成30年は原油高を背景にガソリンや電気代などのエネルギー関連品目が上昇した。

令和元年10月に消費税率が8%から10%となる改定が行われたが、飲食料品への軽減税率の適用や幼児教育・保育の無償化の実施により影響は軽微なものとなった。令和2年は、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界経済の減速懸念を背景とした原油安に伴い電気代やガソリンなどが下落した一方で、「巣ごもり需要」による生鮮野菜などの上昇がみられ、夏以降は「GoToトラベル事業」により宿泊料が下落した。令和3年は、4月に大手通信各社の携帯電話の通信料が大幅に値下げされたことにより、年間を通じて下落となった（令和3年7月分から公表の2020年基準改定において、携帯電話通信料の指数における比重（ウエイト）が高まっている）。

令和4年には、円安や資源価格の高騰に伴い、食料やエネルギー関連品目を中心に価格転嫁の動きが見られ、3年ぶりの上昇となった。

図1 静岡市消費者物価指数の推移

（2020年=100）

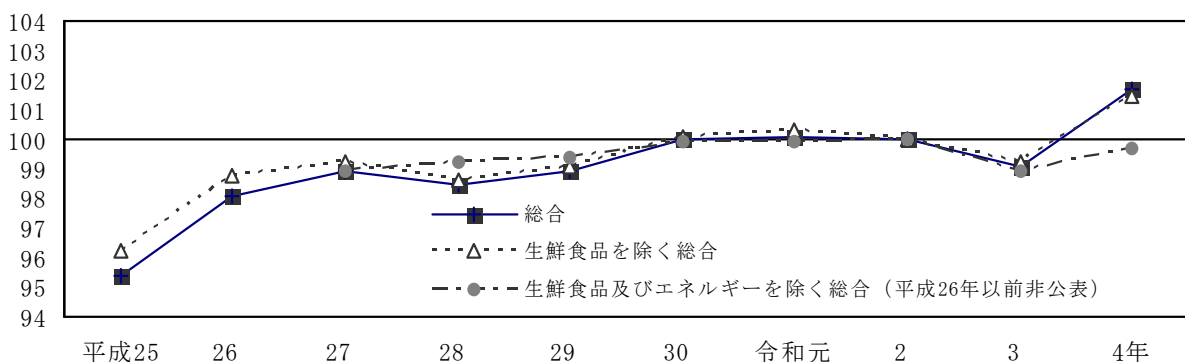


図2 静岡市消費者物価指数の前年比の推移

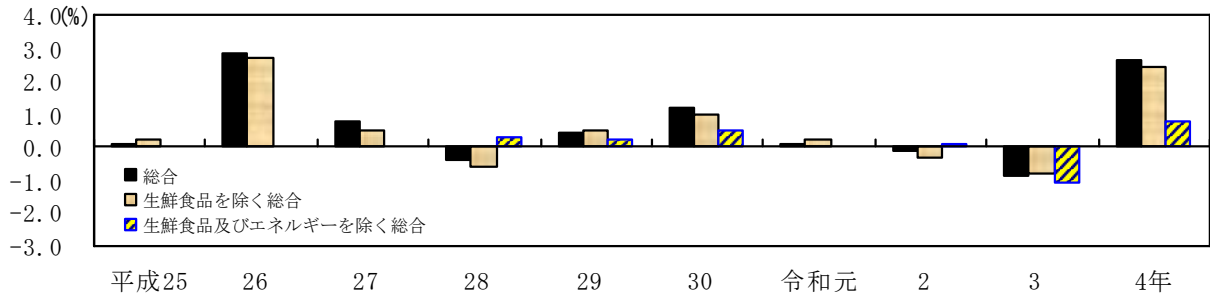


表1 静岡市消費者物価指数及び前年比 (2020年=100)

		平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
総合	指数	95.4	98.1	98.9	98.5	98.9	100.0	100.1	100.0	99.1	101.7
	前年比(%)	0.1	2.8	0.8	-0.4	0.4	1.2	0.1	-0.1	-0.9	2.6
生鮮食品を除く総合	指数	96.2	98.8	99.2	98.6	99.1	100.1	100.3	100.0	99.2	101.5
	前年比(%)	0.2	2.7	0.5	-0.6	0.5	1.0	0.2	-0.3	-0.8	2.4
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	-	-	98.9	99.2	99.4	99.9	99.9	100.0	98.9	99.7
	前年比(%)	-	-	-	0.3	0.2	0.5	0.0	0.1	-1.1	0.8

(2) 10大費目別指数の前年比

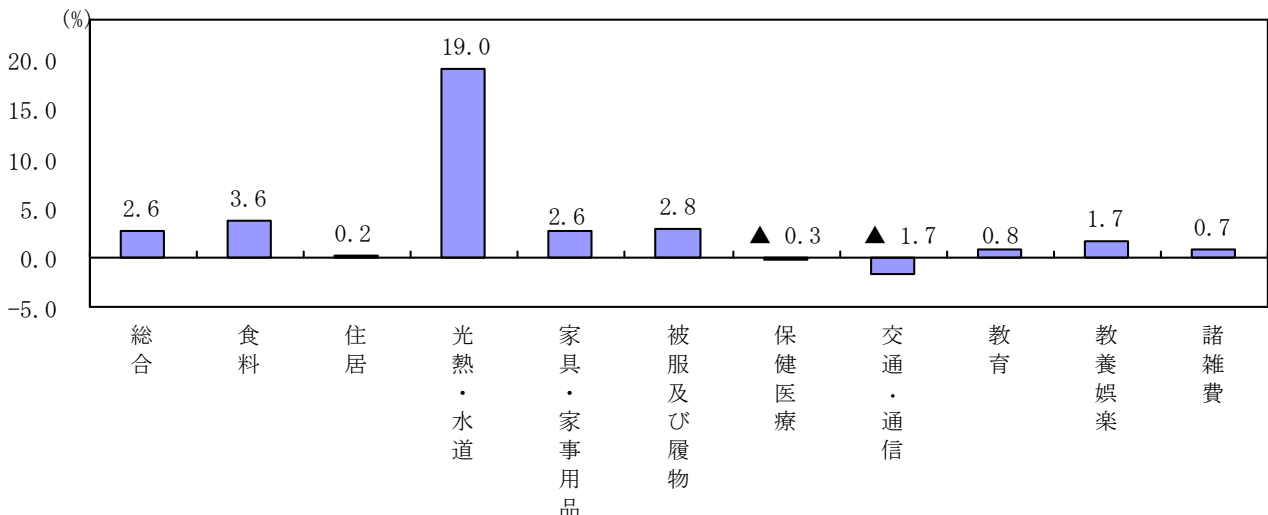
令和4年平均の10大費目別指数の前年比を見ると、電気代やガス代などの光熱・水道が原油価格の高騰により前年比19.0%の上昇となった。

一方で、通信料（携帯電話）などの交通・通信は、前年比マイナスとなった。

表2 静岡市消費者物価指数の令和4年10大費目別指数、前年比及び寄与度 (2020年=100)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	101.7	103.2	99.5	119.6	102.3	101.9	99.2	93.1	101.0	102.9	102.5
前年比(%)	2.6	3.6	0.2	19.0	2.6	2.8	-0.3	-1.7	0.8	1.7	0.7
寄与度	-	1.03	0.04	1.39	0.10	0.10	-0.01	-0.25	0.02	0.16	0.05

図3 静岡市消費者物価指数の10大費目別指数の前年比



(3) 令和4年の月別の動き

令和2（2020）年を100とした総合指数及び生鮮食品を除く総合指数の前年同月比は、電気代などのエネルギー関連の上昇を受け、年間を通じて上昇傾向であった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数については、昨年から下落傾向にあったが、原材料価格の高騰や円安の影響を受け、4月にプラスに転じた。

図4 静岡市消費者物価指数の前年同月比の動き

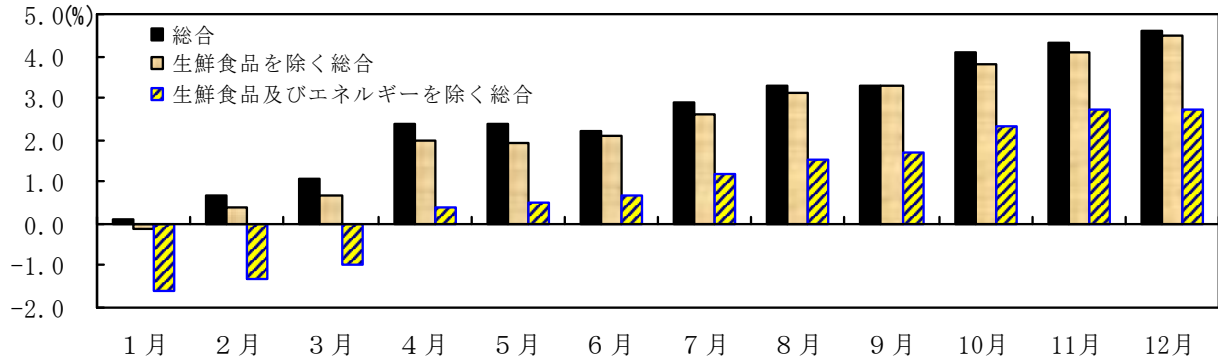


表3 令和4年静岡市消費者物価指数の月別推移

(2020年=100)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	指数	99.6	99.9	100.4	100.7	101.2	101.1	101.8	102.3	102.8	103.5	103.7	103.8
	前年同月比 (%)	0.1	0.7	1.1	2.4	2.4	2.2	2.9	3.3	3.3	4.1	4.3	4.6
	前月比 (%)	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	0.0	0.7	0.5	0.4	0.7	0.2	0.1
生鮮食品を除く総合	指数	99.4	99.7	100.2	100.6	100.8	100.9	101.6	102.1	102.5	103.1	103.5	103.9
	前年同月比 (%)	-0.1	0.4	0.7	2.0	1.9	2.1	2.6	3.1	3.3	3.8	4.1	4.5
	前月比 (%)	0.0	0.4	0.5	0.3	0.2	0.1	0.7	0.5	0.3	0.7	0.4	0.4
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	98.3	98.4	98.7	99.0	99.2	99.2	99.8	100.2	100.3	101.0	101.3	101.2
	前年同月比 (%)	-1.6	-1.3	-1.0	0.4	0.5	0.7	1.2	1.5	1.7	2.3	2.7	2.7
	前月比 (%)	-0.2	0.1	0.3	0.3	0.2	0.0	0.6	0.4	0.1	0.6	0.3	-0.1

2 浜松市消費者物価指数

浜松市の令和4年平均の消費者物価指数は、総合指数が103.0となり、前年と比べ2.8%上昇し、2年連続の上昇となった。

生鮮食品を除く総合指数は102.8となり、前年と比べ2.6%の上昇でこちらも2年連続の上昇となった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は101.0で、前年と比べ1.1%の上昇となった。

(1) 年平均の推移

総合指数の前年比は、静岡市と同様、平成26年の消費税率の改定などの影響で大幅に上昇し、平成28年は原油安などで下落したものの、平成29年、30年ではエネルギー関連品目の上昇などに伴いプラスとなった。令和元年は消費税率の改定や幼児教育・保育の無償化により上昇幅は縮小した。令和2年は新型コロナウイルス感染症による影響などで、令和3年は携帯電話の通信料の値下げや住居費の上昇により0.0%前後で推移していたが、令和4年には、円安や原油価格の高騰などにより、大きく上昇した。

図5 浜松市消費者物価指数の推移

(2020年=100)

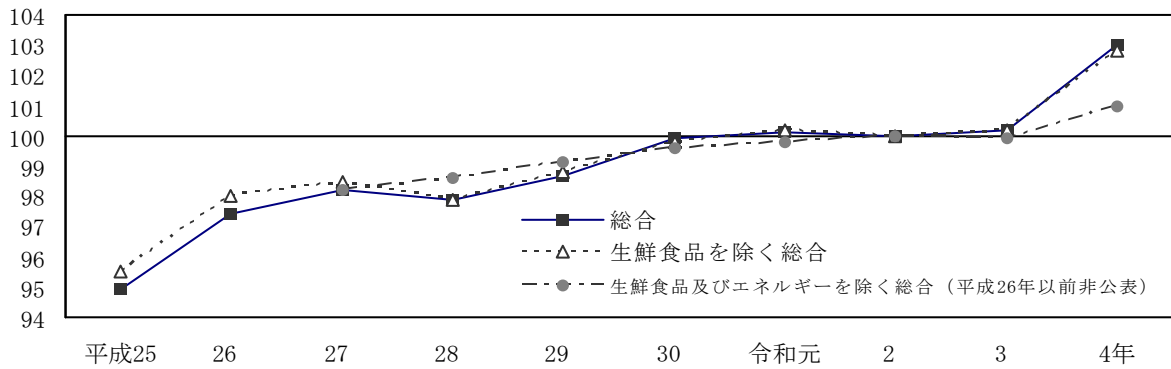


図6 浜松市消費者物価指数の前年比の推移

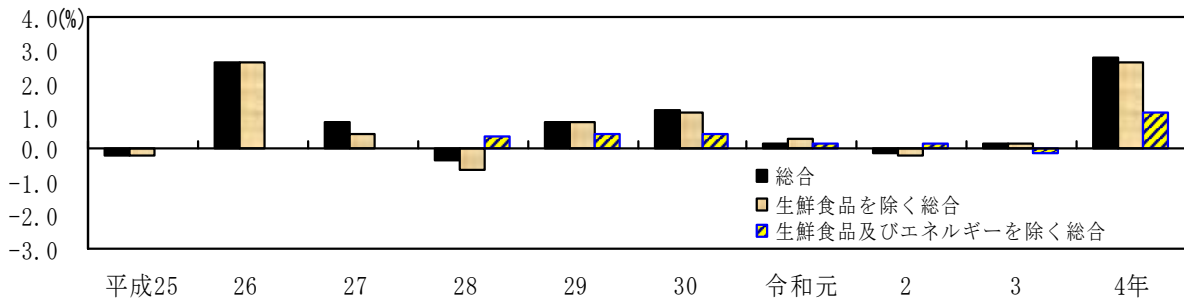


表4 浜松市消費者物価指数及び前年比

(2020年=100)

		平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年
総合	指数	94.9	97.4	98.2	97.9	98.7	99.9	100.1	100.0	100.2	103.0
	前年比(%)	-0.2	2.6	0.8	-0.3	0.8	1.2	0.2	-0.1	0.2	2.8
生鮮食品を除く総合	指数	95.5	98.0	98.5	97.9	98.8	99.8	100.2	100.0	100.2	102.8
	前年比(%)	-0.2	2.6	0.5	-0.6	0.8	1.1	0.3	-0.2	0.2	2.6
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	-	-	98.2	98.6	99.1	99.6	99.8	100.0	99.9	101.0
	前年比(%)	-	-	-	0.4	0.5	0.5	0.2	0.2	-0.1	1.1

(2) 10大費目別指数の前年比

令和4年平均の10大費目別指数の前年比をみると、静岡市と同様、電気代やガス代などの光熱・水道が大幅に上昇し、前年比18.5%となった。

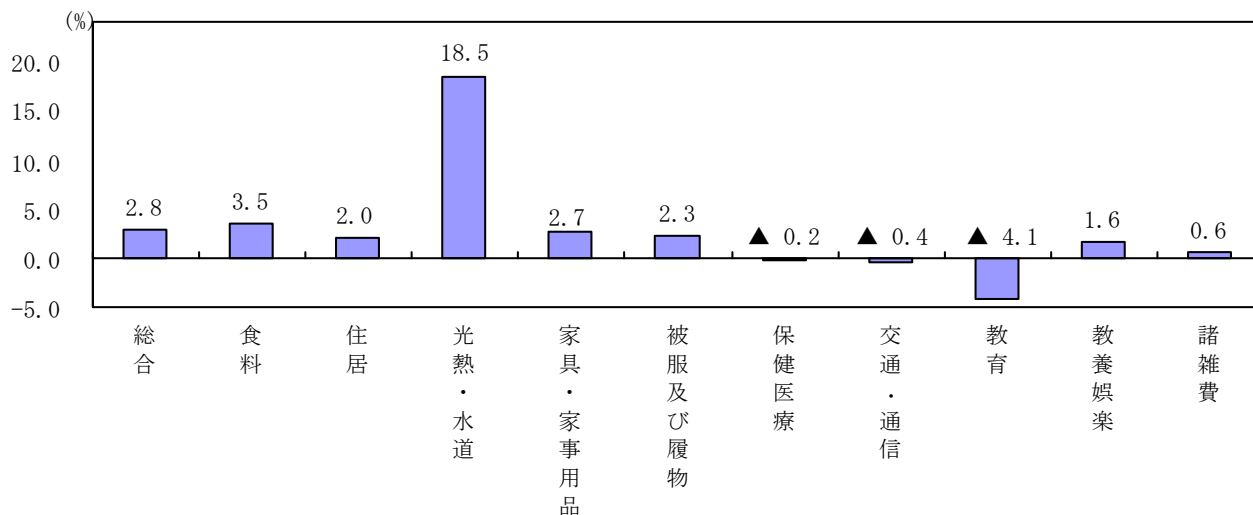
また、通信料（携帯電話）などの交通・通信やPTA会費などの教育では、前年比マイナスとなった。

表5 浜松市消費者物価指数の令和4年10大費目別指数、前年比及び寄与度

(2020年=100)

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	103.0	103.5	104.9	118.2	103.9	103.0	99.0	96.1	94.6	103.2	101.3
前年比(%)	2.8	3.5	2.0	18.5	2.7	2.3	-0.2	-0.4	-4.1	1.6	0.6
寄与度	—	0.91	0.41	1.27	0.11	0.08	-0.01	-0.06	-0.09	0.15	0.04

図7 浜松市消費者物価指数の10大費目別指数の前年比



(3) 令和4年の月別の動き

令和2（2020）年を100とした総合指数及び生鮮食品を除く総合指数の対前年同月比は、年間を通じて上昇傾向であった。

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数については、4月にプラスに転じ、その後は上昇が続いている。

図8 浜松市消費者物価指数の前年同月比の動き

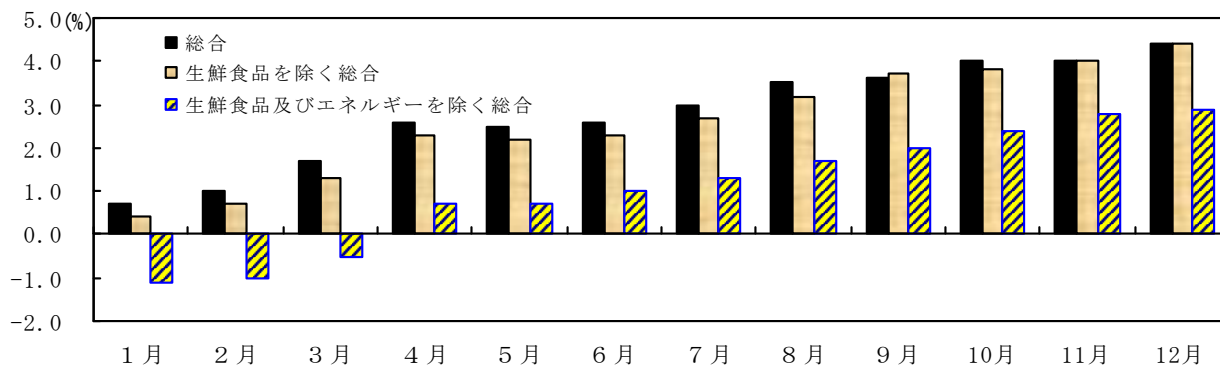


表6 令和4年浜松市消費者物価指数の月別推移

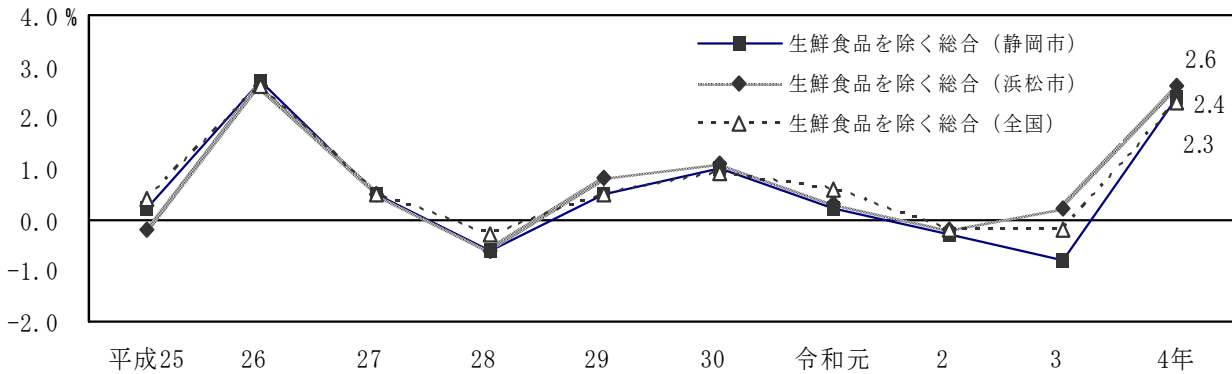
(2020年=100)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総合	指数	100.8	101.2	101.9	102.0	102.3	102.4	103.2	103.6	104.1	104.7	104.9	105.0
	前年同月比 (%)	0.7	1.0	1.7	2.6	2.5	2.6	3.0	3.5	3.6	4.0	4.0	4.4
	前月比 (%)	0.2	0.4	0.7	0.1	0.3	0.1	0.7	0.5	0.4	0.6	0.2	0.1
生鮮食品を除く総合	指数	100.6	101.0	101.7	101.8	102.1	102.2	102.9	103.5	103.8	104.4	104.7	105.0
	前年同月比 (%)	0.4	0.7	1.3	2.3	2.2	2.3	2.7	3.2	3.7	3.8	4.0	4.4
	前月比 (%)	0.0	0.4	0.7	0.1	0.2	0.1	0.7	0.6	0.3	0.5	0.3	0.3
生鮮食品及びエネルギーを除く総合	指数	99.4	99.6	100.0	100.1	100.4	100.5	101.1	101.6	101.6	102.2	102.5	102.6
	前年同月比 (%)	-1.1	-1.0	-0.5	0.7	0.7	1.0	1.3	1.7	2.0	2.4	2.8	2.9
	前月比 (%)	-0.2	0.1	0.5	0.1	0.3	0.1	0.6	0.5	0.1	0.6	0.3	0.0

3 静岡市、浜松市、全国の生鮮食品を除く総合（前年比）の消費者物価指数（参考）

消費者物価の基調をみるために、天候要因などによる値動きの激しい生鮮食品を除いた総合指数である「生鮮食品を除く総合指数」について、令和4年は、前年比で、静岡市が2.4%の上昇、浜松市が2.6%の上昇、全国が2.3%の上昇となった。

図9 静岡市、浜松市、全国の生鮮食品を除く総合（前年比）の推移（参考）
(2020年=100)

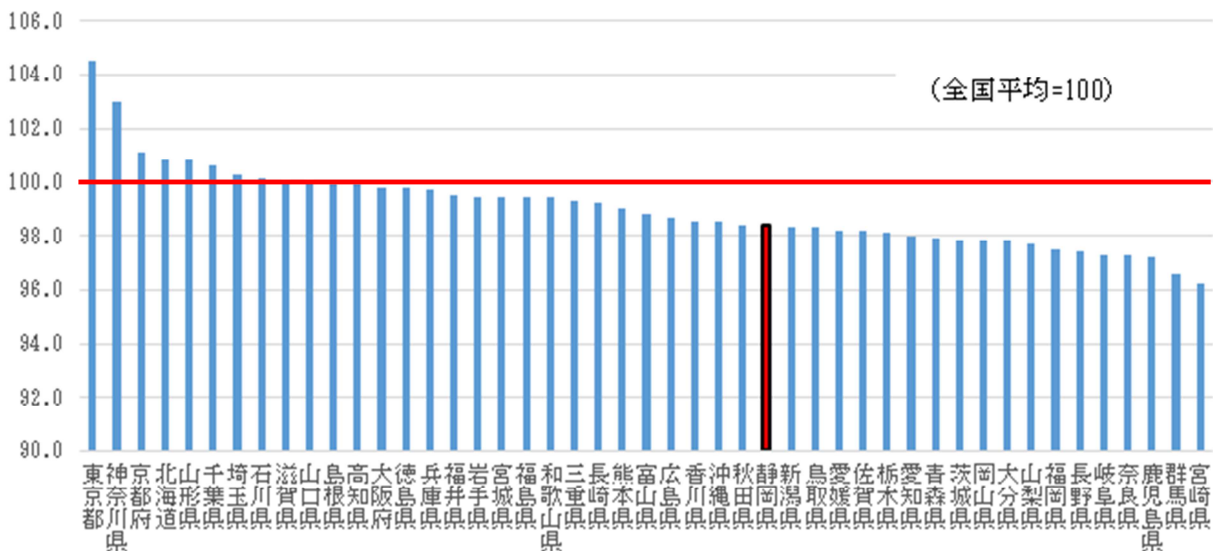


< コラム 静岡県の物価水準 >

小売物価統計調査では物価構造の変化を把握するため、調査内容等の拡充を行い「構造編」と位置付け、平成25年から調査を行っています。

「構造編」のうち、地域間の物価水準の違いをみることを目的として、各地域の物価水準を全国の物価水準を100とした指数値で示したものを「消費者物価地域差指数」といいます。

○ 令和3（2021）年消費者物価地域差指数（総合）



令和3年では、静岡県は秋田県と並び、総合指数は98.4で物価水準の高い方からみて28位です。最近5年間の順位の推移をみると26位（令和2年）、29位（令和元年）、29位（平成30年）、32位（平成29年）、37位（平成28年）となっています。